

# 住民の要望に町はどう応えるのか

原 成兆 議員

**町長** 実態を総合的に勘案し、改善に努める



広大な農業振興地域

優先すべき道路は、沿道地権者など理解と協力を得ながら改善を進める。  
問④ 町内業者へ時限的財政支援すべき  
町長 各種業者への支援策は拡大・充実を図る。



質問 健全財政を維持している町は、住民の要望に応えるべきと考え、次の7点を町長に伺う。  
問① 町の財政は本当に悪化したのだろうか。  
町長 町税の減収は前年度を更に上回り、財政運営は厳しさを増している。  
問② 住民要望を把握するシステムとその優先順位は。  
町長 町民意識調査などが主要な手法。  
問③ 農業振興地域を解除し道路整備を。  
町長 安全性の確保を  
問⑤ コミュニティセンター等、地域施設の管理運営は地域住民の手で。  
町長 地域が主体となった管理・運営を目指す。  
問⑥ 福祉バスの幅広い活用は。  
町長 利用実態を総合的に勘案し、改善に努める。  
問⑦ 町民の健康維持に町は何をするのか。  
町長 運動メニューの提供促進を図り、医療系サービスの維持・拡充に努める。

## 高い学力を有する児童生徒への対策は



森 巨 議員 (智政)

**教育長** 効果的な習熟度別の指導などを実施

質問 町教育委員会は、これまで不登校対策、通級学級の開設、学力向上施策など、積極的に取り組む、今日一定の成果が表れたものと認識している。しかし、高い学力を有し、意欲的に学習に取り組んでいる児童生徒が暇を持っている。質問 不登校対策や学力底上のための事業費は。  
教育長 学力調査、漢字検定、ICT機器の導入、学習サポートやスクールカウンセラーの配置、教育相談の充実など、22年度で約7,000万円である。  
問② 高い学力を有する児童生徒への事業費は。  
教育長 習熟度別の指導を実施



校内研究協議会の様子 (五小)

こんな質問もありました  
職員の給与の実態と職務意欲の喚起策は。  
町長 近隣市と比較しても決して高いものではない。また、人事考課を導入し、成果に対する報酬を支給する体系とした。

## 横断歩道等安全のための道路整備を

青山 晋 議員 (公明)



**町長** 関係機関と調整し警察に要望していく



横断歩道のない松原中央公園付近の道路

質問 町は現在、1,100以上の町道を維持管理している。道路横断時、歩行者の安全を確保するための横断歩道等の交通安全施設は、住民が安心して利用できる整備がされているか疑問を感じる。そこで、次の3点について、町長に所見を伺う。  
問① 横断歩道がない危険個所の把握と今後の対応について。  
町長 町の職員が巡回し、危険個所の把握と必要な交通安全施設の設置に努力している。そのほかは、関係機関と調整し警察に要望していく。  
問② 大きな樹木の根により歩道に凹凸が出来ている危険個所の確認と対策は。  
町長 点検の実施と適切な対応を怠らないよう、指示している。今後も指示の徹底を図っていく。  
問③ 丁字路等の子ども飛び出し対策は。  
町長 安全教育の実施や、見づらい個所の改良、注意喚起の看板設置などを行っている。今後も交通安全施設の設置、関係機関への改善要望、地域や関係機関との連携などを推進する。

## 高齢者への支援策強化を

近藤 浩 議員 (改革)



**町長** シルバー人材センターの支援を継続する



シルバー人材センター

質問 超高齢社会に加え、経済不況と政治貧困の中、「年金から、いろいろ引かれると、残りはわずかになってしまふ。」など高齢者の生活が脅かされている。町でも様々な施策が展開されていると思うが、さらに進めるべきと考え、以下の点について町長の所見を伺うものである。  
問① 働く場所の確保について。  
町長 シルバー人材センターには、民間事業所での就業機会の確保を要請、広報の配布、公園管理などの業務を委託している。23年度には、道路側溝の清掃業務を委託するなどの支援を継続する。  
問② 家賃補助について。  
町長 基本的に生活保護制度で補完されるべきであり、財源などを考慮しても、独自の補助には問題がある。  
問③ 介護保険料などの現状と軽減策は。  
町長 国の制度設計に従って、町が事業を実施している。制度上その財源を保険料に求める得ず、今以上の負担軽減は難しいと考える。